



京都市左京区北白川追分町  
京都大学基礎物理学研究所  
高木修二様

c092-002-053

©2022 YHAL, YITP, Kyoto University

京都大学基礎物理学研究所 湯川記念館史料室

七月六日

東京郵文京区大塚窪町  
東京教育大学理学部物理教員  
理海物理研究室  
安野 俞心

前書

同封しましたのは、先日（7月3日付）の議事録の寄呈です。今回も  
大層ですが、皆で協力して会を成功させねばならないと思います。  
就きましては、確認の意味で 折り返し 出席の有無と、出来れば  
comment なり remark なりも お書き添えの上

東京都 文京区 大塚 産町  
東京教育大学 理学部 物理教室  
理論物理研究室

安野 愈

宛 お知らせ下さい。  
まずはお知らせ下さい。

7月 5日

科学者会館 事務局

科学者会議・継続委員会 7月3日 (1962年)

名義書店 第1会議室 PM 5:00 - 7:30  
出席者

坂田 朝永 湯川 豊田 小川(浩) 野上 小沼 安野 山田 大槻

### 議題

1. 人数をどうするか
2. 人選の具体化
3. テーマの確認
4. 勉強会の企画をどうするか
5. 事務的な事ばら (会計etc.)

### 議事内容

#### 1. 北軽会議についての了解事項

- a) 今回の会議のテーマは「全面軍縮とアジア問題」とする。
- b) 科学者会議・第2回と称す。15回目の夏の学校と考える。
- c) 「第1回では遊覧バスで全般的に見てきたから、今回は問題として、深く勉強する」と性格規定とする。
- d) 主として若い人に reporter になって頂き、長老級が勉強する形とする。
- e) 主な目的の一つとして、湯川のロンドンでの参考となる討論を行う。ロンドン会議へのメッセージも最終的にまとめる。
- f) 会議は非公開で行い、声明も出さない。
- g) 記者会見はあこなわれない。

#### 2. 会場設営関係の報告

谷川と相談の上 以下のようにしている。

日時 : 8月9日夜 10日, 11日, 12日 13日迄

場所 : 会場 — 北軽観光ホテル 別荘 鷹山荘 (2.30 畳の大広間)

宿舎 — 観光ホテル (長老級)

谷川

野上(茂)

〃(弥)

(若手が今宿)

参加者の出入は 7月22日、豊田が北軽に出かける以前に確認する。

現在の capacity は

|      |      |      |
|------|------|------|
| ホテル  | 10人  |      |
| 分宿   | 7人   |      |
| 駅前旅館 | 1~2人 | の予定。 |

### 3. テーマ と 討 論 内 容

テーマは大きく分けて次の2つとする。

#### I. 軍縮問題

approachの仕方について勉強の分担を決める。

ii) 東京: game, sampling, RAND cooperation etc.

iii) 京都: "The Voice of Dolphins" 批判

iii) 名古屋: Blackett 論文

#### II. アジア問題

野上グループに委任するが、アジアの非核武装 という観点から  
中印問題も考えて欲しい、と comment あり。その他報告に欲しい  
ものに 中印科学の現状、科学者の社会的責任、中ソの協力関係 etc.

なお special topics として次の問題についての報告を要す。

超高度核爆発の問題 : 小川(岩)

地下爆発の探知 : 小川(岩), 小沼

以上適宜 study group と作って、適当な方法で連絡し、勉強する。  
今回は 経済問題は 主要テーマから除外す。

### 4. 人 選

#### A. 出席予定者

坂田 朝永 湯川

貝塚茂樹、上原淳道、田中隼次郎、宮沢俊義、茅誠司、我妻栄

福島要一、田島英三、谷川徹三、三宅恭雄

野上、豊田、小川(岩)、小沼、安野、大槻、高木、山田、小川(修)、(22名)

B. 原則として参加者とこれ以上ふやさないが、増える場合にも  
継続委員会が宿舎の世話となる。

#### 5. 招待の事務

正式には継続委から書面で行う。ただしその前に次のようなルート  
で informal な諒解を得ておく。

貝塚 ← 湯川

上原(博) ← 野上

宮沢) ← 豊田

田中

茅, 成妻, 谷川, 三宅 ← 朝永

田島 ← 豊田 or 小川(若)

福島 ← 野上

A. 準備会は 今後は特に開かないが、プログラム編成 (speaker,  
座長の決定) ときめる会が"もてれば"もつ。

B. その機会がないときは、勉強会の前日 8月9日 夕方にその  
作業を行う。

#### 6. 事務的なことから

A. 会場設営責任は 豊田-谷川 で 野上が手伝う

B. 京都会議の後始末

i) 雑誌 "世界" は終了。

ii) "新書" は 科学者京都会議の議事録としてではなく、ラッセル-  
アインシュタイン精神の具体化の厂欠 ということにする。その中の  
京都会議の取り扱いはどうするか、又 B.C.兵器関係はどうするか  
をとり決める。

C. 会計責任は 引き続き 小川(若) にして頂く。

D. 会計... 京都会議については既に決済済み。今回は 10万円を使って  
定額の半分は各自負担とする。予め諒解を得ておく必要がある。

E. この議事録は 事務局全部、継続委員には確認の意味で配布する。

— 以上 —